

西 聖一の県政報告

皆さんこんにちは



にし のし 西 聖一 せい いち

発行/西 聖一事務所
発行人/県議会議員 西 聖一
事務所/(〒861-5517)
熊本市北区鶴羽田2丁目8-41
TEL・FAX (096) 344-1816
ホームページ http://nishinokaze.com/

県議会だより

9月議会
一般質問

コロナ感染症、豪雨災害など60の議案を審議
9月補正後の予算は史上3番目の9,870億円に

9月10日から10月6日まで、9月議会が開催されました。新型コロナウイルス感染症第5波の影響がつづくなか、感染症対策と経済支援に 대응するための議会対応となりました。

議会冒頭、知事による県政の動向に関する説明、1.新型コロナウイルス感染症への対応、2.令和3年の梅雨前線豪雨等への対応、3.令和2年7月豪雨災害への対応、4.東京オリンピック・パラリンピックについての報告等がなされ、補正予算案をはじめとした60の議決を要する案件、さらに9月議会は決算報告の議会であることから、県が出資している一般財団法人等の28団体からの経営状況の説明書類の報告など、35件の承認について議会に提案されました。

新型コロナウイルス感染症対策関連では、9月議会前に8月に3度の補正予算(300億6千万円)を専決しており、9月議会でも関連予算が計上されましたが、9月末をもってまん延防止等重点措置期間が終了したのちも、2週間程度営業時短を飲食店に実施することから、

その支援に係る費用31億円弱が議会中に追加提案され、最終的には9月補正では424億円の追加補正予算となりました。

質問登壇は、会派の代表質問3人、一般質問8人の議員が行い、コロナ感染症対策、CO2削減、空港アクセス鉄道、財政等の問題を中心に議論が交わされました。

また熱海土砂災害の事例を受けて、県内での盛り土や埋め立て地に対する検証、さらにはこれからの開発行為に対する県の姿勢が注目されることとなっています。

9月補正後の予算は、9,870億円余りになりますが、この金額は、熊本地震、昨年の豪雨災害を受けて予算



▲厚生常任委員会視察(グランメッセワクチン広域接種会場：R3年8月19日)

はどうか。争いや貧富の差、自然破壊、人種差別などを放置する人類への警告はどうか。未来はどうか。

その支援に係る費用31億円弱が議会中に追加提案され、最終的には9月補正では424億円の追加補正予算となりました。

ごあいさつ
コロナ感染症対策これからも…

実りの秋を迎え、皆様には充実した日々をお過ごしのことと存じます。

さて、新型コロナウイルス感染症第5波の感染拡大により、本県でも、まん延防止等重点措置期間が延長される事態までに至りましたが、県民の皆様のご協力のおかげで、9月末で終了となりました。

この間、医療関係者をはじめとする多くの皆様のご尽力に、心から感謝と敬意を表します。そして、自粛により経済活動の縮小を余儀なくされた方々におかれては、これからの経済対策を大いに期待されることだと考えています。本県でも9月議会の予算を含めて、コロナ対策にはこの2年間余りで3,670億円が予算化され、感染症への対策や経済対策に支出されています。

ポストコロナ後の、命を守り県民生活の安定を目指しての県が果たすべき役割と期待は多々あります。皆様の意見をしっかりと県政に反

映させてまいります。

さて、7月～8月には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。開催を巡っては様々な意見があったところですが、選手の躍動感あふれる活躍は、私たちに大きな感動をもたらしました。中でもオリンピックの新種目やパラリンピック競技では、これまであまり知られていない種目が報道され、そしてそこに多くの選手とサポーターが関わっていることに私は感激しました。

また、パラリンピックは同じ種目でも、障害の程度を様々に考慮して競技が開催されることを改めて知らされました。まさに多様性をしっかり受け止めたスポーツ競技の祭典ではなかったでしょうか。

スポーツに限らず、国際社会において多様性を認めていくことが、世界の潮流です。日本はこの点は非常に遅れているといわれていますが、東京オリンピック・パラリンピック

元気で頑張っています



が契機となって、国民の認識が高まってくれば大会開催の大きな成果のひとつになると思います。

最後に、お手元にこの議会だよりが届くころには、衆議院選挙の結果が出ています。第6波がくるといわれている新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、併せて経済の活性化を実現するという難しい局面を乗り越えなければなりません。そして国際的緊張も高まっていますが、個々の人権を尊重し、多様性を認めあうダイバーシティが進む政治が実践されることを私は期待します。

していくこと、また財政の健全化という視点を失わないようにする必要があります。

議会最終日にも、補正予算が提出され、併せて意見書・請願の採択等について議決がされました。

新型コロナウイルスの第6波が11月にも出てくるのではないかという、専門家の意見もあります。これからの感染症防止対策の充実と併せて、疲弊した熊本の経済立て直しのために、しっかりとした議会の対応を実施していく必要があります。

●採択された請願

「私学助成に関する意見書の提出を求める請願」

●不採択された請願

「新型コロナウイルス感染症の新規感染者が減少傾向にあるもとで、今こそワクチンと一体で大規模検査の実施を求める請願」

●採択された意見書

- ・「特殊土地帯災害防除及び振興臨時措置法」に関する意見書
・盛土による災害を防止する法律の制定に関する意見書
・太陽光発電施設の適正立地に向けた法律の制定に関する意見書
・私学助成の充実強化等に関する意見書

水前寺六丁目



昨年1月下旬に高校時代の先輩を囲んで、当時の部活動の後輩数人で新年会を開いた。先輩とは卒業後初めての出会いだっただけで、思い出に花が咲いた。その前の年の年末頃から、中国で新型コロナウイルスが見つかった、というニュースが流れたが、風邪のウイルスだろうという軽い認識しかなかった。新年会のお開きの時、先輩は「皆と会えて嬉しかったし楽しかった。今度は3月下旬に花見をしよう」と提案した。「いいですね」と応えたが、その後新型コロナウイルスの感染が大規模に広がりました。ワジワと日本全土や世界各国に広がりました。死者や感染者が増え、治療薬も見つからないまま、世界各国も日本列島もコロナ感染の恐怖におびえた。政府も各自治体も病院も対策に追われ、多くの業種が経営中止に追い込まれるなど、日本だけでなく、世界各国で新型コロナウイルス感染症対策や防止策、そして薬の開発に追われた。